

御膳衛重廿前略○中 又親王公卿廿前、每前餚打敷四枚、碁手五十貫、飽食五具冷泉院也

〔台記別記〕久安三年三月廿八日辛卯、入道殿御賀藤原忠實、七賀賴長父、雜事略○中

一饗略○中

小舍人所 政所 御厩 御車副 政所法師

已上屯食。

一屯食卅具 殿下御庄々

盛。廿具 荒。十具

仁平三年八月八日乙丑於土御門定春日詣雜事略○中

一佐保殿御裝束饗

廿一日略○中 屯食十五具 福井御庄三具 多田御庄三具 弘井御庄三具 椋橋東御庄四具

岡屋御庄二具

〔安元御賀記〕安元二年としのついでひのえさる彌生のはじめの四日略○中 今年太上天皇白河後いそぢに満たまふによりて、我きみ倉高の御賀を奉らせ給ふなりけり、其日の曉法住寺の南どのに行幸あり略○中 是よりさきに獻物百捧、中門よりとの南のわきにたつ、屯食百荷おなじきらうの東の庭にたつ略○下

〔玉藥〕承久二年四月十六日、此日東宮順德皇子仲恭始聞食魚味略○中

屯食事 合卅具、自院廳召出納所獻渡本宮廳、今分給之、分配所々

御膳宿 女官等 進物等番衆

已上盛屯食。

主膳監 主殿寮 御藏小舍人 召使 進物所舍人 廳直 釜殿仕丁 大番仕丁